

ヤンバルの森が、辺野古の海が泣いている！

政府は1月19日に世界遺産候補として「奄美大島、徳之島、沖縄島北部および西表島」と「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」を国連教育科学文化遺産（ユネスコ）に正式推薦した。

ところで沖縄本島北部のヤンバル地域は、亜熱帯照葉樹林が広がり、アマミノクロウサギやヤンバルクイナなどの希少種が生息している場所でもある。

しかし政府はそんな自然を破壊し、アメリカ海兵隊のヘリパットを6ヶ所建設しようとしている。（すでに2カ所が完成し、現在4カ所を工事中。）完成すれば、このヘリパットからオスプレイが年間420回使用される。

そして全国から機動隊を派遣し反対する住民を暴力で弾圧している。また反対運動のリーダーでもある山城博治沖縄平和運動センター議長を不当逮捕し3カ月以上も拘束している。しかも家族の面会や靴下の差し入れさえ認めないなどの不当な扱いをおこなっている。

まさに一方で世界遺産登録を進めながら、他方でその「世界遺産」を破壊している？こんな茶番劇を許しているのか？いま高江や辺野古でやられている、反対運動への暴力的な弾圧は、やがて日本国中で繰り広げられるだろう？！

そして安倍はテロやオリンピックを口実にして「共謀罪」法案を国会で成立させようとしている。まさに戦前の「治安維持法」も「一般の労働者には無関係だ」と答弁していた。しかし成立した以降は敗戦までの17年間で6万8千人が検挙され、小林多喜二の拷問死や横浜事件など多くの人々が犠牲となった。

